

# 会報 第11号 平成24年9月

# 陽だまり



社団法人  
山形県老人クラブ連合会

〒990-0021 山形市小白川町2-3-31 県総合社会福祉センター2階  
tel (023)622-5601 fax (023)622-5606  
ホームページ <http://www.kirara-yamagata.or.jp>  
E-mail [yrouren@poplar.ocn.ne.jp](mailto:yrouren@poplar.ocn.ne.jp)



第47回 山形県老人福祉大会



寒河江市立西根小学校5年生の「西根豊年太鼓」



鈴木久司さんのステージ

## 県老連・寒河江市老連創立50周年記念 第47回山形県老人福祉大会

地域と共に、仲間と共に、  
輝いて50年

9月13日、寒河江市市民文化会館において、県内市町村老人クラブの役員、老人福祉関係者等1,000名が参加し、第47回山形県老人福祉大会が開催されました。

今年は、県老連と会場地寒河江市老連の創立50周年記念大会とし、オープニングでは「ようこそ寒河江へ 寒河江祭りの神輿の祭典」を映像で紹介し、続いて「半世紀の歴史を未来につなぐ～県内老人クラブの活動紹介」をスライドとナレーションで演出し、歓迎と50周年を祝い寒河江市立西根小学校5年生の51名が学校文化の伝統を引き継ぐ「西根豊年太鼓」を元気に力強く演奏してくれました。フィナーレは、地元で農民歌手として活躍されている鈴木久司さんが「祝い節」「宵まちみこし」と「寒河江小唄」では寒河江民踊舞踊連盟の皆さんとの共演でステージを飾っていただきました。

式典では、白石敏県老連会長が式辞を述べ、ご臨席の来賓を代表して吉村美栄子県知事をはじめ、佐藤洋樹寒河江市長、平弘造県議会議長、高橋勝文寒河江市議会議長よりご祝辞を賜りました。

また、県知事感謝状と県老連会長表彰並びに感謝状、創立50周年記念特別表彰が伝達され、老人クラブ会員加入促進キャンペーン運動達成と全老連活動賞受賞の紹介も合わせて行われ

ました。

そして、受賞者を代表して寒河江市の竹田茂助さんがあいさつされました。

亀谷千代子県老連副会長が、大会宣言を朗読し提案を行い、満場の大きな拍手をもって採択されました。

### I 県知事感謝状

- ①老人クラブの指導育成に特に貢献のあった者・・・36名
- ②社会福祉(地域)活動が特に顕著な老人クラブ・・・4団体
- ③老人福祉施設等の介護職員として15年以上業務に精励し、他の範と認められる者・・・21名

### II 県老連会長表彰

- ①老人クラブ育成指導功勞・・・94名
- ②優良老人クラブ・・・12団体
- ③永年勤続・・・1名

### III 創立50周年記念県老連会長特別表彰

- ①老人クラブ育成指導功勞・・・29名
- ②協賛企業・・・1社

### IV 県老連会長感謝状

- 事業協賛・協力団体・・・5団体

## 50周年メッセージ



### 「一世紀に向けた始まりの年」

社団法人山形県老人クラブ連合会 会長 白石 敏

本会が昭和37年に発足してから半世紀が経過し、50周年を迎えることができました。今日まで、各地域において様々な活動を通じて老人クラブの発展に尽力された歴代会長、役員をはじめ会員の皆様のご努力に深く敬意を表します。

県老連は、老人の福祉向上をめざし創立以来諸先輩の熱意と関係機関のご支援によって、生活と地域を豊かにするために様々な活動を通じて、組織の向上が図られてきました。

半世紀を過ぎたこれからは、社会も急激に変容し、ニーズが多様化していることから、会員一人ひとりがいきいきと元気に輝けるよう「新たな絆社会の創造」に向けて、志を新たに組織拡充と活動の活性化に取り組んでいくことが求められ、今「高齢者の世紀」にふさわしい魅力あるクラブづくりに向け、限りない飛躍と発展を期してこの50周年が一世紀につなぐ始まりとなるよう受け止めてまいります。



### 「県老連50周年を祝して」

山形県知事 吉村 美栄子

山形県老人クラブ連合会が創立50周年を迎えられたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

さて、現在、本県のほぼ4人に1人が65歳以上の高齢者であり、その割合はさらに増えることが見込まれていることから、県では「一人ひとりの尊厳と自立が得られ、活力に満ちた安心と喜びのひろがる長寿社会」の実現を目指して、福祉・保健・医療はもとより、まちづくりなど各分野にわたる取組みを展開しているところです。

一方で、このような社会の実現に向けて、高齢者の方々が自ら参加されることも重要ではないかと考えております。貴会におかれましては、創立以来、友愛活動や生きがいがづくり・健康づくり運動などの地域活動を構成団体とともに実践しており、その活躍をたいへん心強いものと感じております。

本格的な高齢社会を迎えた山形県において、貴会の活動が更に充実されますことを期待して、お祝いの言葉いたします。



### 「お祝いの言葉」

財団法人全国老人クラブ連合会 会長 斎藤 十朗

山形県老人クラブ連合会が創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴会は、昭和37年の結成以来、健康と生きがいがづくり活動を通して老後の幸せを支える地域活動を推進されてこられました。

なかでも平成9年の第10回全国健康福祉祭では「地域文化伝承館」を開設し、伝承活動や日頃の老人クラブ活動の紹介に努め、全国からの参加者と交流を深める場となりました。

また、組織リーダーや活動支援者の養成を目的とした「山形ふるさと塾応援シニア」等の地域貢献型ボランティア人材の育成は、県行政の施策と呼応しながら活力ある長寿社会づくりに向けた担い手づくりとして各方面から期待が寄せられています。

創立50周年を契機に仲間づくり・健康づくり・生きがいがづくりを目的とする老人クラブ創設の原点に立ち返り、「高齢者の世紀」にふさわしい魅力あるクラブづくりに向けてさらに発展されますようご期待申しあげ、お祝いのことばいたします。

# 会員加入促進キャンペーン

県内一斉会員加入促進キャンペーンは、平成22年度より表彰基準を改正して期間を3か年に定め実施し、今年度が最終でしたのでその成果と評価をまとめました。

表彰基準には、申請内容を緩和し、以前から実施していた新規会員5人増についても受け付けました。

この結果、申請市町村と達成クラブは着実に伸びており、各クラブの取り組みと関心が高まってきております。

今年度は、35市町村連合会より報告があり、213クラブがそれぞれの区分において達成されました。

特に、再結成・再加入、新規結成が9連合会15クラブ、また連合会が前年度会員を上回り増となり目的を達成されました。

今後も「地域に老人クラブの灯を消すな！と復活の呼びかけ」を合言葉に、県老連と市町村老連が一体となってこの新たな県内一斉会員加入促進キャンペーンを展開し、これまでの新規会員を増やすという活動に加え、現在のクラブを活性化し解散を防ぐ、あるいは解散してしまったクラブを再結成・再加入させるという新たな視点で活動の展開を図っていききたいと思います。

今後とも格別のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

【会員加入促進キャンペーンの3か年のまとめ】

部門(区分)		H22年度	H23年度	H24年度
①新規会員10%増	申請市町村数	9	15	19
	達成クラブ	34	50	74
②70歳未満会員割合5%増	申請市町村数	7	11	13
	達成クラブ	17	26	31
③再結成・再加入・新規結成クラブ	申請市町村数	7	7	9
	達成クラブ	15	8	15
④新規会員5人以上増	申請市町村数	23	27	27
	達成クラブ	122	110	89
⑤連合会会員前年度増	申請・達成市町村数	0	1	4
	達成クラブ	188	195	213

## 全国老人クラブ連合会活動賞

全国老人クラブ連合会活動賞は、全国老人クラブ連合会がそれぞれの活動分野に焦点をあて、他の参考となる活動を先駆的に実施している単位クラブ、あるいは連合会に贈呈され、贈呈を通して優良事例を掘り起こし、活動への意欲を高め、老人クラブ活動の一層の発展を目指していこうとするものです。

今年度から、市町村老連からの推薦申請方式をとらせていただき、自薦、他薦問わず自分たちの活動を自己評価し、自信をもって活動されている意欲を感じました。

今年度は、3部門に次の7団体を推薦し決定いたしました。

おめでとうございます。今後も、さらなるご活躍を心からご祈念申し上げます。



受賞の喜びを語る  
河北町北谷地地区 縄会長



### ①仲間づくり活動部門

南陽市／南陽市老人クラブ連合会  
鮎川村／牛潜寿老人クラブ

### ②健康づくり活動部門

酒田市／酒田市老人クラブ連合会酒田支部  
村山市／村山市老人クラブ連合会

### ③ボランティア活動部門

大江町／大江町老人クラブ連合会  
河北町／北谷地地区老人クラブ連合会  
戸沢村／津谷長寿会

## 市町村老人クラブ連合会事務担当者会議

6月13日、県総合社会福祉センターにおいて市町村老連の事務局を担当する方が参加し開催しました。

この会議は、ここ数年間開催していなかったことから昨年計画しましたが、残念ながら都合により中止となりました。

県老連事業を推進するためには、事務担当者との連携が重要であり、内容では県長寿社会課梅津課長から「山形県の高齢者福祉施策について」今年3月に策定した「やまがた長寿安心プラン」を解説していただきました。

また、県老連から「老人クラブ組織・活動の現状と問題点」と「会員加入組織活性化への対応策」について、昨年度実施した老人クラブ組織加入活性化に関するアンケート調査の集計結果概要をまとめ、それが対策について報告しました。

それらを基に各市町村が抱える問題等の情報提供と意見交換を行い、解決に向けた相互の役割と取組みを強化することにしています。



# 市町村の動き

## 7/2 公式ワナゲ講習会 三川町老人クラブ連合会

町社会福祉センターにおいて公式ワナゲ普及員認定講習会を開催し、27人が受講し、そのうち24人が普及員資格を希望され全員が合格しました。

この講習は、7月20日に町老連が開催する大会に向けて普及養成を兼ねて行われ、これまで県老連の公式ワナゲ全国交流大会にも参加しており、競技運営として輪を次ぎの人に渡す時の心遣いとして青の輪を中心に赤と黄の輪4本を揃えて手渡し思いやりの提案をいただきました。



## 8/8 ふるさと発見遊び塾 大蔵村老人クラブ連合会

村ふるさと味来館を会場に「じんちゃん、ばんちゃんと交流そば打ち体験」をおこないました。

この日は、子どもたちは夏休みでもあり、学童保育の児童と会場周辺地区の児童等1年生から6年生まで32名が参加しました。

そば打ちの指導は、味来館職員(そば打ち名人)と会場地区(沼の台・豊牧)の老人クラブ会員12名が協力してくれ、大人1人に子ども2~3人で班を作り、16班に分かれ、そば粉をこねてのばして、そして切って、ゆでる作業まで協力し合いながらなんとか出来上がりました。

自分が打ったそばは、細いのから太いのもまで様々ですが、味は格別で美味しく食べました。

子どもたちは、「こねるのが難しかったが、美味しいそばが作れて嬉しい。」

「切る時は太さをそろえるのが難しかった。」などお年寄りの方たちは、「世界にひとつだけのそば、どこにも売っていない、みんなと一緒にできてとても良かった。」「また一緒にできることを楽しみにしています。」「今日の日を忘れないでください。」みんなのそばは「金メダル」でした。



## 9/14 グラウンド・ゴルフ大会 南陽市老人クラブ連合会

市中央花公園グラウンド・ゴルフ場、市内17クラブから103人が参加し、グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

個人戦では、1チーム6~7人でA・C2コースの16ホールをまわり競技しました。

日ごろの練習成果が発揮され、ホールインワン賞も出て仲間づくりと親睦交流がはかられました。

また、開会式において全老連活動賞と会員加入促進キャンペーン連合会会員増達成の賞状を伝達し披露しました。



## 9/25 輪投げ大会 戸沢村老人クラブ連合会

村中央公民館体育館において、第24回輪投げ大会が開催され、単位クラブから14チームと村議会議員1チームの約100人が参加しました。

1チーム5人で1人4ゲームを行い、総計を集計し、得点の高い12チームが決勝トーナメントに進出し順位を競いました。

優勝：滝ノ下と準優勝：中沢の2チームが、県老連の「第6回公式ワナゲ全国交流大会」に出場いたします。



## 9/28 レクリエーション大会 山辺町老人クラブ連合会

町屋内ゲートボール場「すば一く山辺」において町内13クラブから約260人が参加し、第26回町レクリエーション大会が開催され、1チーム5人で編成し、全て5種目の競技が行われ元気に交流され、今年は新設された「輝きクラブ」がはじめて参加し楽しく仲間に加わっていました。



## 編集 後記

半世紀の歴史の重さを感じ、会員の皆さんと創立50周年を迎えられたことをうれしく思います。

高齢社会の中で老人クラブの果たす役割は大きく、地域になくしてはならない存在です。

人生のベテラン世代に支えられ、これまで多くの実績と信頼を築きあげてきました。

一昨年の組織活性化検討委員からの提言をもとに、昨年は老人クラブ組織加入活性化に関するアンケート調査を実施し、合わせて会員加入促進のための若手委員会設置に取り組んでいます。

山積する課題は多くありますが、一つひとつ解決できるよう努力していますので、変わらぬご支援をお願いいたします。(高橋)